

## 選者紹介



カン ハンナ (かん はんな)

昭和五十六年韓国ソウル生

「N H K 短歌テキスト」#短歌写真部選者

歌集『まだまだです』

家族とは離れていても繋がりて韓国語でも家族は家族

染野 太朗 (そめの たろう) 「まひる野」編集委員 「外出」  
昭和五十二年茨城生 「西瓜」 同人  
歌集『あの日の海』『人魚』『初恋』『恋のすべて』(くどうれいんとの共著)  
きみはぼくのことばも呼吸も奪うのにさびしさに指いつぽん触れず



花山多佳子（はなやま たかこ）「塔」選者

昭和二十三年東京生

「河北歌壇」選者、NHK学園「短歌友の会」選者

歌集『空合』『木香薔薇』『胡瓜草』『鳥影』『三本のやまぼふし』など  
歌書『森岡貞香の秀歌』

深き霧の白ひいろいろに太極拳する人らしきがかすかにうごく

東直子（ひがし なおこ）「かばん」会員

昭和三十八年広島生

「東京歌壇」選者

歌集『春原さんのリコード』『青卵』

歌書『短歌の時間』『現代短歌版百人一首 花々は色あせるのね』

小説『とりつくしま』『フランネルの紐』、エッセイ集『一緒に生きる』『魚を抱いて』

折り畳み傘をふたたび折り畳み火にくべられた枝々思う

全作品の名前を伏せて、全選者にそれぞれ特選・秀作・佳作作品を選んでいただきました。